

&lt;理念、目的、教育研究目標、方針等&gt;設定・確認シート

作成日:2016年 2月 19日

責任者	神学研究科委員長	作成部局	神学研究科
-----	----------	------	-------

A-1	<b>神学研究科の理念</b>		変更の有無
	神学研究科は、「キリスト教の伝道に従事すべく選ばれた者を鍛錬する」(関西学院創立時制定の「憲法」第二款「目的」)ことを基に、高度な神学研究ならびに神学教育を行い、神学の普及に努める。		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
A-2	<b>神学研究科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)</b>	<b>神学研究科の目的(Webサイト上)</b>	変更の有無
	神学研究科は、関西学院創立時の基本理念を継承し、神学における専門研究者の育成とキリスト教会やキリスト教主義学校教育、社会福祉や社会活動などの領域において指導的な役割を果たすことができる、高度な専門的知識を具えた職業人を育成することを目的とする。併せて、幅広くキリスト教に関する知見を具え、多元化社会において深い見識の下、具体的な社会や世界の問題を発見し、これと取り組み、解決できる人材を育成することを目的とする。	神学研究科は、「キリスト教の伝道に従事すべく選ばれた者を鍛錬する」(関西学院創立時制定の「憲法」第二款「目的」)という関西学院創立時の基本理念を継承し、神学における専門研究者の育成とキリスト教会やキリスト教主義学校教育、社会福祉や社会活動などの領域において指導的な役割を果たすことができる、高度な専門的知識を具えた職業人を育成することを目的とする。併せて、幅広くキリスト教に関する知見を具え、多元化社会において深い見識の下、具体的な社会や世界の問題を発見し、これと取り組み、解決できる人材を育成することを目的とする。	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	<b>めざす学生像</b>		変更の有無
	<p>【前期課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神学において専門的な知識を修得し、思索を深めている</li> <li>・ 各自の専門領域において、優れた特色ある研究を行う能力を有している</li> <li>・ 伝道者コースの学生は、礼拝の指導者、説教者、牧会者として宣教の現場で直ちに活躍しうる力量を有している</li> </ul> <p>【後期課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神学における専門的な学識と研究能力を有している</li> <li>・ 神学の専門家として社会と教会とに貢献できる能力を有している</li> </ul>		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	<b>学位授与方針(ディプロマ・ポリシー;DP)</b>		変更の有無
	<p>【博士課程前期課程】</p> <p>博士課程前期課程の教育目標を下記の通り定め、本課程に2年(4学期)以上在学して所定の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上、修士論文を提出して、その審査および所定の試験に合格した者に修士の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 神学において専門的な知識を修得し、思索を深めている</li> <li>2. 各自の専門領域において、優れた特色ある研究を行う能力を有している</li> <li>3. キリスト教の本質にふれつつ、幅広くキリスト教に関する知見を養い、多元化社会において深い見識をそなえ、具体的な社会や世界の問題を発見し、これとキリスト教的な立場から取り組み、解決できる力量を身につけている</li> <li>4. キリスト教伝道者コースにおいては、礼拝の指導者、説教者、牧会者として宣教の現場で直ちに活躍しうる力量を身につけている。さらに、教会などのフィールドで経験したことを理論的に反省し、それを再び実践へと活かすことのできる能力を有している</li> <li>5. 修士論文を執筆できる能力を有している</li> </ol> <p>【博士課程後期課程】</p> <p>博士課程後期課程の教育目標を下記の通り定め、本課程に3年(6学期)以上在学して所定の研究指導を受けた上、博士論文を提出して、その審査および所定の試験に合格した者に博士(課程博士)の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 神学の様々な分野における専門的学識を有している</li> <li>2. 神学の専門家として社会と教会とに貢献できる能力を有している</li> <li>3. 博士論文を執筆できる能力を有している</li> </ol>		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し



<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート

作成日:2016年 2月 19日

責任者	神学研究科委員長	作成部局	神学研究科
-----	----------	------	-------

A-3

教育研究目標		変更の有無
目標1	(タイトル) 神学における専門的な知識を修得し、思索を深めることのできる人材の育成 [前期課程]	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	(狙い・内容) より高度な専門知識の習得を目指し、幅広くキリスト教に関する知見を具え、かつ思索できる人材を育成する。	
目標2	(タイトル) 多様なキリスト教思想の知を身につけた人材の育成 [前期課程]	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	(狙い・内容) 世界で展開する様々なキリスト教思想を学び、多元化社会において深い見識を養い、具体的な世界の問題を発見し、キリスト教的な立場から取り組み、解決できる人材を育成する。	
目標3	(タイトル) 修士論文を執筆できる能力の育成 [前期課程]	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	(狙い・内容) 神学における専門研究者の育成とキリスト教会やキリスト教主義学校教育、社会福祉や社会活動などの領域において指導的な役割を果たすことができる、高度な専門知識を具えた職業人を育成する	
目標4	(タイトル) 博士論文を執筆できる能力の修得 [後期課程]	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	(狙い・内容) 神学における高度な専門研究者を効果的に育成するべく、学位論文の執筆にむけて指導する。	

A-3.「教育研究目標」に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	「教育研究目標」は、A-2「目的」、「めざす学生像」の実現に向けて、相応しい内容であるか、適切な表現であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	「教育研究目標」は、教育の質向上に向けた意欲的な内容になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	「教育研究目標」は、周知・公表されているか。	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	研究科委員会(議長:神学研究科委員長)
	検証手続き	カリキュラム研究委員会の審議または懇談を経て、毎年7月の教授会において決裁・承認(確認)する。
	決定・判断時期	毎年7月
	検証エビデンス	研究科委員会:記録
検証プロセスを適切に機能させているか		<input type="checkbox"/> 1.機能させている <input checked="" type="checkbox"/> 2.機能させていない
	検証方法(指標、測定方法など)	『履修の手引き』の掲載内容(主に理念・DP・CP・AP・GM(カリキュラムマップ))を確認・把握のうえ、カリキュラム研究委員会にて課題について懇談、研究科委員会にて整理する。
	成果	<input type="checkbox"/> 成果あり(内容: ) <input checked="" type="checkbox"/> 成果なし
	改善・伸長に向けた	<input checked="" type="checkbox"/> 計画あり (内容:カリキュラム研究委員会、研究科委員会において翌年度の実施を検討し、決裁する。) <input type="checkbox"/> 計画なし
	検証エビデンス	研究科委員会:記録
周知・公表方法	<input type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input checked="" type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input type="checkbox"/> その他( )	



<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート

作成日:2016年 2月 19日

責任者	神学研究科委員長	作成部局	神学研究科
-----	----------	------	-------

A-5

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー;AP)	変更の有無
<p><b>博士課程前期課程</b>                      キリスト教伝道者コースにおいては、所属教会からの推薦を得られ、かつ幅広い神学的知識と思索力を有し、多様な宣教の現場で活動する高い志を持つ者                      キリスト教思想・文化コースにおいては、受洗の有無を問わず、幅広い神学的知識と思索力を有し、キリスト教が人類の歴史の中で生み出してきた思想や文化的財などの学際的領域に興味を持つ者</p> <p><b>博士課程後期課程</b>                      キリスト教神学に関連する研究に対して授与された修士学位に相応しい知識（語学能力を含む）と研究能力を備えて、さらに神学の様々な分野における専門的な学識知識と思索を深め、優れた特色ある研究を行うことができる者</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し

A-5. 学生の受け入れ方針に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認	チェック欄												
【確認1】 学生の受け入れ方針は、A-2「学位授与方針」、A-4「教育課程の編成・実施方針」と整合性が取れているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ												
【確認2】 学生の受け入れ方針は、理念・目的、教育研究目標を踏まえ、入学時に求める学生像や、修得しておくべき知識等の内容・水準等を明らかにしているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ												
【確認3】 学生の受け入れ方針と、実際の学生募集方法、入学者選抜の実施方法は整合性が取れているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ												
【確認4】 学生の受け入れ方針は、周知・公表されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">適切性の検証体制を明確にしているか</td> <td style="width: 20%;">責任主体・組織(承認・決裁)</td> <td>研究科委員会（議長：神学研究科委員長）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>検証手続き</td> <td>入試検討委員会での審議または懇談を経て、毎年5月の研究科委員会において決裁・承認（確認）する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>決定・判断時期</td> <td>毎年5月</td> </tr> <tr> <td></td> <td>検証エビデンス</td> <td>研究科委員会：記録</td> </tr> </table>	適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	研究科委員会（議長：神学研究科委員長）		検証手続き	入試検討委員会での審議または懇談を経て、毎年5月の研究科委員会において決裁・承認（確認）する。		決定・判断時期	毎年5月		検証エビデンス	研究科委員会：記録	<input type="checkbox"/> 1. 機能させている <input checked="" type="checkbox"/> 2. 機能させていない
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	研究科委員会（議長：神学研究科委員長）											
	検証手続き	入試検討委員会での審議または懇談を経て、毎年5月の研究科委員会において決裁・承認（確認）する。											
	決定・判断時期	毎年5月											
	検証エビデンス	研究科委員会：記録											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証プロセスを適切に機能させているか</td> <td style="width: 20%;">検証方法(指標、測定方法など)</td> <td>『履修の手引き』の掲載内容（主に理念・DP・CP・AP・CM（カリキュラムマップ））を確認・把握のうえ、カリキュラム研究委員会にて課題について懇談、研究科委員会にて整理する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>成果</td> <td><input type="checkbox"/>成果あり（内容：）      <input checked="" type="checkbox"/>成果なし</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改善・伸長に向けた</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>計画あり（内容：入試検討委員会、研究科委員会において翌年度の実施を検討し、決裁する。）      <input type="checkbox"/>計画なし</td> </tr> <tr> <td></td> <td>検証エビデンス</td> <td>研究科委員会：記録</td> </tr> </table>	検証プロセスを適切に機能させているか	検証方法(指標、測定方法など)	『履修の手引き』の掲載内容（主に理念・DP・CP・AP・CM（カリキュラムマップ））を確認・把握のうえ、カリキュラム研究委員会にて課題について懇談、研究科委員会にて整理する。		成果	<input type="checkbox"/> 成果あり（内容：） <input checked="" type="checkbox"/> 成果なし		改善・伸長に向けた	<input checked="" type="checkbox"/> 計画あり（内容：入試検討委員会、研究科委員会において翌年度の実施を検討し、決裁する。） <input type="checkbox"/> 計画なし		検証エビデンス	研究科委員会：記録	
検証プロセスを適切に機能させているか	検証方法(指標、測定方法など)	『履修の手引き』の掲載内容（主に理念・DP・CP・AP・CM（カリキュラムマップ））を確認・把握のうえ、カリキュラム研究委員会にて課題について懇談、研究科委員会にて整理する。											
	成果	<input type="checkbox"/> 成果あり（内容：） <input checked="" type="checkbox"/> 成果なし											
	改善・伸長に向けた	<input checked="" type="checkbox"/> 計画あり（内容：入試検討委員会、研究科委員会において翌年度の実施を検討し、決裁する。） <input type="checkbox"/> 計画なし											
	検証エビデンス	研究科委員会：記録											
周知・公表方法	<input type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input checked="" type="checkbox"/> その他（入試要項）												

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート

作成日:2016年 2月 19日

責任者	神学研究科委員長	作成部局	神学研究科
-----	----------	------	-------

A-6

学生支援に関する方針		変更の有無
<p>少人数教育の利点を生かし、学生各自のニーズをきめ細かく抽出し、能力や特性に応じた支援を以下の通り行う。</p> <p>1) 個別ケースごとに支援を検討する。</p> <p>2) 必要に応じて学内関連機関（総合支援センター・保健館など）との連携において情報共有し、保証人への連絡および面談の実施、本人との面談実施などを通じて支援を行う。</p> <p>3) 当該学生のプライバシーの保護を尊重したうえで、学部長室委員会や教授会において学生の動向報告として情報を共有し、支援の内容をはじめ、広く学生への対応に関しても意見交換を行う。</p> <p>4) 全学で定める方針がある場合にはそれに従い、上記に則って学生への支援を模索する。</p>		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
修学支援	<p>学籍異動を希望する院生については教員（指導教員、場合によっては研究科副委員長）、事務担当者が面談を行う。</p> <p>学費援助などの経済的支援、研究補助などを目的とした奨学金を神学研究科独自で実施する。留年者の状況把握については、部長室委員会ならびに研究科委員会でも情報共有がなされ、対応について懇談を行い、当該院生への指導については原則、指導教員が行う。</p> <p>障がい学生に対する支援</p> <p>全学で定める方針に従い、個別ケースに応じた対応・支援を模索する。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
生活支援	<p>希望する院生に対し、教員、場合によっては事務担当者も含めて面談を行う。必要に応じて学内の自立支援コーディネーター、学生カウンセラー、医師・看護師とも連携の上、学修を継続する方法を模索する。</p> <p>各種ハラスメント</p> <p>全学で定める方針に従い、授業内またはガイダンスなどにおいて周知・指導を行いつつ、個別ケースに応じた対応を模索する。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
進路支援	<p>インターンシップ</p> <p>「臨床教会実習」（夏期集中の正課科目）は、医療機関（病院）での実習科目である。患者さま、そのご家族さまとの係わりを通じて教会者としての自己理解を深め、その役割を明確にするとともに、そのニーズがどこにあるのかに気づき、教会方法について思索していくことを目的に実施している。</p> <p>「キリスト教社会実習」（各学期開講の正課科目）は、社会の様々な問題（滞日外国人、セクシャリティ、HIV等）にキリスト教を基盤として、あるいはクリスチャンワーカーとともに取り組む団体や福祉事業に直接的にかかわり、「いま、ここで」の体験を元にその背景を学び、現実に行っていることを知り、その中で声を聞き、将来の自分自身の教会のあり方を考える機会になることを目的としている。</p> <p>また正課ではないが、夏期派遣のプログラムも実施する。これは、全国各地の協力教会（日本基督教団）での奉仕を通じて現場を体験することを目的としている。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート

作成日:2016年 2月 19日

責任者	神学研究科委員長	作成部局	神学研究科
-----	----------	------	-------

A-6. 学生支援に関する方針について、適切性および検証体制・検証プロセスの確認			チェック欄
【確認1】	学生支援の方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、理念・目的、入学者の傾向等の特性を踏まえた内容になっているか。		<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	方針に沿って、修学支援、生活支援、進路支援のための仕組みや体制を整備し、適切に運用しているか。 (下記のことが明らかであることに留意する。) <修学支援> ・留年者及び休・退学者の状況把握と対処 ・学生の能力に応じた補習・補充教育の実施 ・障がい学生に対する修学支援の実施 ・奨学金等の経済的支援の実施 <生活支援> ・学生相談室等、学生の相談に応じる体制の整備、学生への案内 ・各種ハラスメント防止に向けた取り組み		<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	学生の進路支援は、入学者の傾向等の特性を踏まえながら、進路選択に関わる指導・ガイダンスの実施の点から取り組んでいるか。		<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認4】	学生支援に関する方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、教職員で共有されているか。		<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	研究科委員会(議長:神学研究科委員長)	
	検証手続き	学部長室委員会で懇談を経て、毎年4月の研究科委員会において決裁・承認(確認)する。	
	決定・判断時期	毎年4月	
	検証エビデンス	研究科委員会:記録	
検証プロセスを適切に機能させているか	<input type="checkbox"/> 1. 機能させている <input checked="" type="checkbox"/> 2. 機能させていない		
	検証方法(指標、測定方法など)	各回の部長室委員会・教授会での学部生の動向報告にて現状を把握の上、教授会において課題を整理している。	
	成果	<input type="checkbox"/> 成果あり(内容: )	<input checked="" type="checkbox"/> 成果なし
	改善・伸長に向けた	<input checked="" type="checkbox"/> 計画あり(内容:学部長室委員会、教授会において翌年度の実施を検討し、決裁する。)	<input type="checkbox"/> 計画なし
	検証エビデンス	教授会:記録	
周知・公表方法	<input type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input type="checkbox"/> 履修心得 <input type="checkbox"/> 学院Webサイト <input type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input checked="" type="checkbox"/> その他(大学ポータルなどのWeb媒体)		

A-7

教員像		変更の有無
1. 経験豊富な優れた神学研究者であること 2. 高い人権意識を有していること 3. 福音主義の教職者である事が望ましい		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
無しの場合どのように設定するか?	責任主体・組織	
	設定方法	
	設定見込み時期	
教員組織の編制方針		変更の有無
神学研究科教員組織編制方針 1. 神学研究科の専任教員は、神学関係の分野において博士学位を有し、また継続的かつ発展的に研究を行う者とする。 2. 伝道者養成という学部設立のミッションを達成するため、教員は福音主義の教職者を中心とする。しかし、神学研究の専門性の観点から、分野・業績・教歴などを勘案して、信徒の教員を採用することを妨げない。 3. 神学教育について豊かな経験を有する者とする。 4. 聖書学(旧約・新約)、歴史神学・キリスト教文化、組織神学、実践神学の各分野に、適切な人員を配置する。		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し

# 2015 年度 自己点検・評価【神学研究科】

A票

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート

作成日:2016年 2月 19日

責任者	神学研究科委員長	作成部局	神学研究科
-----	----------	------	-------

A-7. 教員像、教員組織の編制方針に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認			チェック欄
【確認1】	教員像は、教員に求める能力・資質、教育に対する姿勢等を明確にしているか。		<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	教員組織の編制方針は、組織的な教育を実施する上において、必要な役割分担や規模(人数)、教員の専門分野やスキル構成、責任体制、を明確にしているか。		<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	教員像・教員組織の編制方針は教職員で共有されているか。		<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	研究科委員会(議長:神学研究科委員長)	
	検証手続き	人事委員会での審議または懇談を経て、毎年4月の研究科委員会において決裁・承認(確認)している。	
	決定・判断時期	毎年4月	
	検証エビデンス	研究科委員会:記録	
検証プロセスを適切に機能させているか		<input type="checkbox"/> 1. 機能させている <input checked="" type="checkbox"/> 2. 機能させていない	
	検証方法(指標、測定方法など)	教員編成方針の確認、現状を把握の上、人事委員会にて課題について懇談し、研究科委員会にて整理する。	
	成果	<input type="checkbox"/> 成果あり(内容: )	<input checked="" type="checkbox"/> 成果なし
	改善・伸長に向けた	<input checked="" type="checkbox"/> 計画あり(内容:人事委員会、研究科委員会において翌年度の実施を検討し、決裁する。)	<input type="checkbox"/> 計画なし
	検証エビデンス	研究科委員会:記録	
周知・公表方法	<input type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input type="checkbox"/> その他( )		